

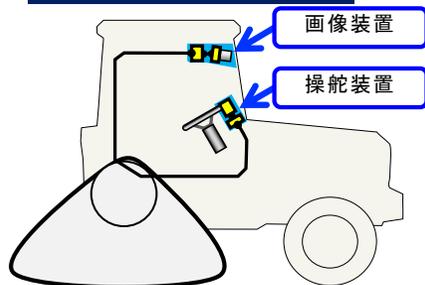
ステアリングアシスト装置搭載トラクタはサツマイモ畝立て作業に適応性できる

カメラ+画像処理技術のアシスト装置により直線で等間隔のサツマイモ畝立てが容易に

背景・目的

- ・サツマイモ畝の直線性、畝幅の斉一性は管理作業、収穫作業効率に影響
- ・施肥、施薬等の複数同時作業が一般化しオペレータの負担増
- ・アシスト装置を活用しサツマイモ畝立て作業を容易に

成果の内容



- ・アシスト装置は画像装置(カメラ+画像処理)、操舵装置(モータ、スイッチ)で構成
- ・アシスト方式は遠景直線アシスト(1行程目)作業跡追従アシスト、マーカ跡追従アシスト(2行程目以降)の3種類
- ・畝端で位置合わせし、スイッチオンで自動操舵
- ・トラクタキャビン内に後付け搭載(適応機種のみ)

導入メリット

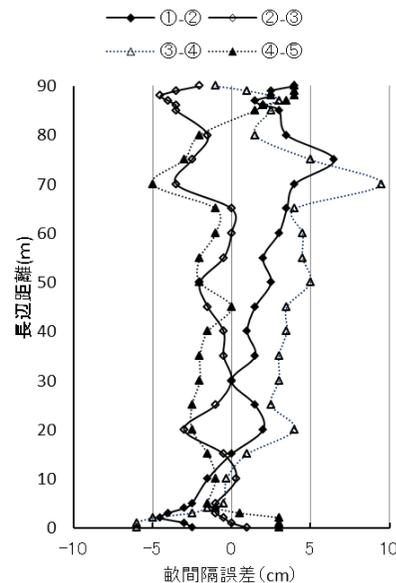


図 マーカ跡追従の畝間隔



初心者でも熟練者並みの畝立て

期待される効果

直線斉一畝による生産性向上、経験の浅いオペレータの活躍

普及対象・範囲
三菱マヒンドラトラクタ
GS252/GM/GAシリーズ所有者